

### ③⑥こゝろ扣（日記）

大正4（1915）年9月

松平家の家令としての公的な記載が中心の『公私備忘』に対して、個人的な内容が中心の日記です。各所に萩原家との交流が見られます。展示部分には萩原朔太郎・おけい（八木始娘・朔太郎母）の行動が書かれています。まず9月23日朔太郎・おけい両名が出京するという電話があり、24日八王子高尾山へ参拝した帰途に（始宅か）に立寄り、25日午後5時半に汽車で前橋へ帰ったとあります。他にも萩原密蔵との間では、株の売買などに関する記述なども各所に見られ、両家の私的な交流を垣間見ることができます。

八木健次家文書 P09702 No. 1510

